

AYA Cancer Symposium 2018

Adolescent and Young Adult

一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会

設立記念シンポジウム

対象：

AYA 世代がんに関わる
医療従事者・患者家族
及び関心のある一般市民

2018 年

6 月 30 日 (土)
13:00-16:00

場所：

ステーションコンファレンス
池袋 Room1
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-11-1
メトロポリタンプラザビル 2F・12F
JR 池袋駅メトロポリタン口徒歩 1 分
/ 西口徒歩 2 分

参加費：1,000 円(資料代)

以下のホームページから
お申込みください

<http://aya-ken.jp/>

問い合わせ

sympo@aya-ken.jp

AYA (adolescent and Young Adult、思春期・若年成人) 世代は、就学、就労、結婚等の様々な出来事が闘病と重なる時期でもあり、罹患や治療に伴いライフプランの変更を余儀なくされることも少なくなく、特有の心理社会的課題があると言われていす。そこで、この度、AYA がん領域における一層の医療と支援の向上を図るため「一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会」(略称：AYA 研) を設立いたしました。今回、それを記念して、広く AYA 世代のがん医療や支援に関わる様々な立場の医療従事者や市民の皆様を対象に、AYA 世代のがん患者・家族が抱える問題や医療と支援の現状について情報共有し、今後の AYA 世代のがん医療・支援の進め方について意見交換したいと考えています。是非、ご興味のある方はご参加ください。

司会

堀部 敬三 (一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会理事長
国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター長)

天野 慎介 (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン、一般社団法人全国がん患者連合会理事長)

シンポジスト

AYA 世代がん患者の特徴とニーズ

清水 千佳子 (国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院乳腺腫瘍内科科長)

サバイバーシップ・コミュニケーション(親、きょうだいを含む)

小澤 美和 (聖路加国際病院小児科医長)

生殖

杉本 公平 (獨協医科大学埼玉医療センターリプロダクションセンター教授)

社会的支援(学業・仕事・経済・社会制度)

樋口 明子 (公益財団法人がんの子どもを守る会ソーシャルワーカー)

患者の立場から

桜井 なおみ (一般社団法人 CSR プロジェクト代表理事)

ディスカッション

主催：一般社団法人 AYA がんの医療と支援のあり方研究会